

# 協働学習支援ツールを使って仲間の考えを比較し、扱う代表値によって考察の結果に違いが現れることに気付かせる学習

第6学年

データの特ちょうを調べよう

## こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 既習内容を振り返りながら、自分の考えをもととする姿がありました。(ノートデータ保存)
- タブレットに提示された(色分け)シートに自分の主張点を明確にして記述する姿がありました。
- 一覧で表示された仲間の考え方と自分の考え方を比較しながら考察する姿がありました。

## 大型提示装置とタブレット端末による効果

導入で、問題場面を動画にしたものを拡大提示し、事象を捉えやすくする。

タブレット上に提示するシートは、事前に色分けしておき、主張を明確にできるようにする。

- ・学級の実態(具体的事象の把握に課題)を考慮し、問題場面を動画で提示する。
- ・主張の根拠となる代表値によって色分けしたシートを用意し、取り上げる代表値を明確にする。



### 教師の指導のポイント

- 本時のようなオープンエンド型の問題を扱う際には、学級の実態に即して、問題提示の方法を工夫する。
- 児童のタブレットに配付するシートは、教師の意図性が必要である。(主張点を色で明確にする等)

## 協働学習支援ツールの活用による効果



協働学習支援ツールを用いて、自分の考えを説明したり、学級全体の考え方を整理したりする。

- ・一覧表示機能を活用し、共通点・相違点に着目させ、取り上げる代表値によって考察結果が変わることに着目させる。

問題解決した後に、条件を変えた新たな問題を提示することで、本時の学習を振り返り、学びを深める。

- ・課題解決した後、「『紙飛行機を投げる回数』を1回から3回に増やすと考察結果は変わるか」と問いかける。
- ・最初の課題追究時に、自分の考えを整理したシートと仲間のシートを比較しながら、自分の考えを再構築する。

### 教師の指導のポイント

- 学級全員の考え方を一覧表示し、「〇〇さんと似ている考え方はどれですか？」などと、共通点・相違点に着目させる発問をする。
- タブレットに自分が記入したことと一覧表示で示された仲間の考え方を比較して、条件が変わったことで、どの考え方を取り上げるとよいかを判断させる場面を設定し、学びを深める。